

我らの「押し」

エコ・ライス新潟

無農薬米や特別栽培米の生産・加工を手掛けるエコ・ライス新潟（新潟県長岡市、阿部信行社長）は腎臓病で食事制限が必要な人で蓄する計画。練馬区、多摩市に続き足立区でも独自に販売力を入れている。体に吸収されやすいたんぱく質が少なく、腎臓に負担を与えない加工米「はんぶん米」を東京都に納入。自治体に普及を図るほか、来年からは腎臓病の患者団体と協力し、患者自身に備蓄してもらおう活動を進める。

食事制限者向け災害備蓄米



体に吸収されやすいたんぱく質が少なく腎臓への負担が少ない

中越地震の経験教訓

「腎臓は体に吸収されやすいたんぱく質が少なく腎臓への負担が少ない。さらに一度炊いたコメを洗うことで、腎臓に障

ないカリウムを半分、リンを3割減らした。

春陽は新潟県上越市で開発された品種。同社代表で生産者の阿部信行さんが8年前から栽培を始めた。今年10月末の検査

▽発売日2007年9月
▽年間販売実績約9万食
(2010年8月期)

▽問い合わせ①02558
・666・00070

「県外では、中越地震の経験を生かして作ったものがまだまだ全然知れ渡っていない」（豊永マネージャー）。このため地元の患者団体などと連携し、地道なPR活動を強化。今年度は東海地域を重点的に回り、「来年度は災害備蓄用の加工米を導入する自治体が多く出てきそう」と語る。患者団体の全国組織「社団法人全国腎臓病協議会」は食料にはんぶん米だけを採用した非常持ち出し袋を今年から売り出した。来年から患者向けの販売を本格化する。合わせて患者自身に備蓄してもらおう啓発活動を進めていく考えだ。

新潟

新潟0255122217547
長岡02558137110000

